

ひろ 広からつながる おいもの絆 第2章

おいもを愛する会（前年度からの継続助成）〔広島県呉市〕

テーマ

おいもラブステーション・ パワーアップ絆プロジェクト

設立年月 2004年12月
メンバー数 80人
代表者名 谷脇 けいこ
連絡先
〒737-0144
広島県呉市広白岳6丁目9-13
谷脇 けいこ
tel 0823-74-0705
fax 0823-74-0705
e-mail oimowoaisurukai.keiko2.5@pink.megaegg.ne.jp
URL <http://ameblo.jp/oimowoaisurukai/>

わたしたちについて

おいもを育てる取り組みを通じて、夢や思いやりにあふれ、互いに助け合う人間関係を創造します。新旧住民のつながり、外国住民との交流、子育て環境の向上を図り、一人ひとりが尊重しあえるコミュニティづくりをめざします。

活動に至った理由や背景

広島県呉市広地区は、近年呉市の人口が減少する中で、子育て世代、さらに外国人住民が他地区より多く、地区内の小学校の児童数が増加しています。一方で、住民の高齢化が進んでいます。そのため、良好な子育て環境の実現と高齢化対策が地区の課題となっています。

こうした地区の状況を背景に、2004年12月に「おいもを愛する会」は設立しました。“おいもでつなげよう地域の輪”を合言葉に「地域交流・であい・ふれあい・おもいあい・支えあい・愛・絆・人権・平和・なかま・つながりの輪」を築こうとする団体です。

現在わずか60坪程の小規模な畑ですが、幼児、小学生、住民とともに「おいも（じゃがいも・さつまいも）」を育て、収穫した「おいも」を活用してイベントを開催しています。この取り組みで子どもと高齢者の交流が生まれ、子育て環境が向上しています。2009年度には「夢や思いやりにあふれ、たがいに助け合う、みんなが住みよいまちをつくろう!」を合言葉に「人づくり・まちづくり事業」を実施し、「人権尊重のまちづくり」について考え、活動しました。これまでの活動を通じて「おいも」の苗を提供してくれた方、畑作り・料理・イベントのボランティアの方、地元大学生、自治会、行政、NPOとのつながりの輪が築けてきています。



活動内容

2010年度は「おいもラブステーション・プロジェクト」を通じて活動の場を広げてきました。現在、「おいも」栽培をする「おいも育て隊」、共に畑作りをする「畑友たち」の輪が呉市内はもちろん県外・北海道から鹿児島県まで広がっています。

広島国際大学の大学生を中心に組織した「町中はたけ調査隊」をきっかけとして発掘された「潜在的な畑」を調査しました。また、収穫した「おいも」を生かした活動を企画し、「町中はたけネットワーク」を形成する基盤づくりをめざしました。2011年度は活動テーマを「おいもラブステーション・パワーアップ絆プロジェクト」と題して、昨年度の取り組みを更にパワーアップさせ、畑とおいもイベントスペースの充実に向かって取り組みました。これまでの活動がパワーアップし絆も深まりました。

○「畑作り」の強化

「おいも育て隊」「畑友たち」の協力を得ながら、広地区中心から呉市全域へ「畑」を増やし、誰もが畑作りに取り組めるよう土嚢袋やプランターを用いました。収穫した作物を地域へ提供・販売する手法についても、農業経験者や豊富な知識を持つ人たちと協働して検討を行いました。会としての新しい畑は「町中はたけ調査隊」をきっかけとして、近隣の自治会長から会長が所有する土地を提供していただき畑作用地として利用しています。「じゃがいも・さつまいも・元気野菜」をみんなで協力して育てることで、地域の子どもたちと大人の絆も深まり家族的な繋がりななかで互いに思いあう心温かい関係が出来てきています。

ひろかんらん 広甘藍(キャベツ)等元気野菜の栽培 (芋類以外の栽培の試み)

おいもを愛する会では、これまで春に「じゃがいもの種芋」を植え育て、夏に「さつまいもの苗」を植え育てていましたが今回、初めての試みで元気野菜作りに挑戦しました。さつまいもを350本、カボチャ・なすび・きゅうり・枝豆・広甘藍(キャベツ)を50個ほど植え育てて、収穫をしました。とっ

ても美味しかったと大好評でした。広甘藍は、一般のキャベツよりやわらかくて甘いキャベツです。従って虫も付きやすく育てるのが大変でした。

11月15日には、収穫した広甘藍を使って「かんらんちゃん焼き」を作り試食会を開催しました。当日NHKから収録取材がありテレビで放映されました。11月23日の広教育祭では、呉市内で育てられている「広甘藍」500個をおいもを愛する会が試食販売をしました。「かんらんちゃん焼き」も大好評でした。



明治時代広村の危機を救った歴史ある「広甘藍(ひろかんらん)」甘くて美味しいよ!



○人的ネットワークの充実

「おいも育て隊」「畑友だち」同士の情報交換(手紙・ボランティア情報紙・チラシ・インターネット)を充実させています。栽培中の「おいも」や活動の様子を、チラシやブログ・マップ等で情報発信しています。その結果、おいもを愛する会への行事参加者が増え、更には、呉市内を始め県外の畑友だちの輪も広がり繋がりも深まりました。「子ども体験交流教室」、「親子ふれあい広場」を開催し交流を深めました。ネットワークを広め、新しい発見と体験を通して学び、自然と人間の関わりや、ともに助け合いながら過ごす仲間とのコミュニケーションについて考えました。また自主性・協調性を育み未来の社会人として「知識と教養」と「生きる力」を身につけることや、同世代の親子が持っている悩みや思いを出し合い交流を深めながら、子育て環境の充実をめざし活動しました。会に参加することで、元気になった参加者の声を聴きつけて口コミで参加される方々も増えました。

「おいもを愛する会」ブログ制作

若い保護者からの提案で立ち上げた「おいもを愛する会」のブログで、畑友だちの畑の様子や「おいもを愛する会」の活動状況を発信しています。まだまだ未熟ですがブログを立ち上げたことで活動の輪が広がりました。

北は北海道ラブステーションから、南は鹿児島ラブステーションのみなさんから情報が寄せられます。その情報を発信することで多くの会員が情報を共有しています。

「種の交換会」開催

2011年9月23日(金、秋分の日)、2012年3月3日の両日とも呉市広会館、広コミュニティセンター集会室にて、晴天に恵まれて良い環境の中、種の交換会は、沢山の種や情報が行き交い、大変盛り上がりしました。両日とも参加者30名を超え充実していました。自家採種した種を持ち寄って交換しましょうというのが趣旨ですが、今現在種をお持ちでない方も参加していただきました。

手芸教室開催

じゃがちゃん・おいもちゃん・各種野菜マスコット人形を作成しました。これからも、手芸教室を開催して「じゃがちゃん・おいもちゃんマスコット人形」を市民に広め、つながるチャンスを作りたいと思います。

○「おいも」を活用した国際交流

中国やブラジル等の外国人住民とその関係団体と協力しながら、「おいも」を使った料理教室を開催しました。7月31日にブラジル料理教室シュバスコ交流会を開催し、11月29日に韓国料理教室を開催しました。7月に開催した「じゃがちゃん祭り」では、ブラジル料理を披露していただきました。12月18日開催の「おいもちゃん祭り」でも、ブラジル料理を披露していただき食を通して交流を深めました。3月には、「じゃがいも種芋植え体験」や日本語教室で日本語を学習している中国やベトナム・フィリピンの人たちと「おいも料理」について学習しました。他の国の家庭料理等を学ぶことを通じて、その国の生活習慣や文化を知り相互理解を深め多文化共生の仲間づくり・まちづくりのために出来ることを考えました。

○「おいも」の特産品開発

地元飲食業者、食品製造業者の協力を得ながら、収穫した「おいも」を使った商品の開発を進めました。10月4日:「おいもパン」「むらさきいも羊羹」「おいもぜんざい」を鈴木教授をはじめ地方自治研究機構のみなさん、北海道から九州までの研究委員のみなさんに食べていただきました。みなさんから美味しいと好評をいただきました。

11月23日広教育祭で「練り製品にサツマイモ」を組み合わせたサツマイモ入り天ぷら「いも丸ちゃん」も完成し参加者のみなさんに200個、試食販売いたしました。大好評でした。メーカーの協力により多くの市民の方々に「おいもを愛する会」の活動を知っていただき「美味しかった、また食べたい」と喜んでいただくことができました。

特産品「おいもパン」・「いも丸ちゃん」・「カーリーガー」の開発

会員が中心となって育てた「さつまいも・じゃがいも」を使い、企業と連携して「おいもパン」(協力企業: (株)クレセント)、「カーリーガー」(協力企業: パン工房麦妻)を開発しました。イベントの際に参加者に販売し、「とても美味しい」と大好評でした。

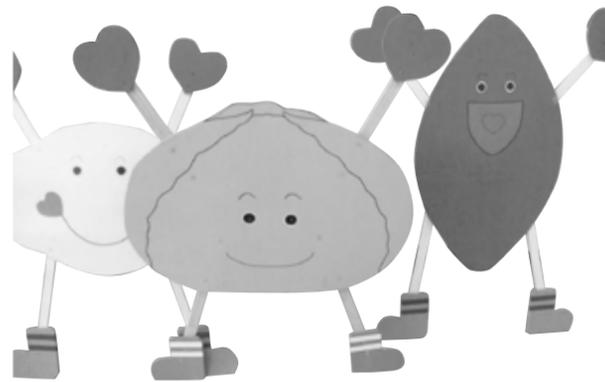


左上から/「北海道ラブステーション～宮崎ラブステーション」/広からんの苗植え後/「お花見料理教室」/ブラジル料理・リングイッサ/日本語教室のおいも学習/料理教室/じゃがいも種芋植え体験/おいもを愛する会のブログ/おいもを愛する会が育てた野菜

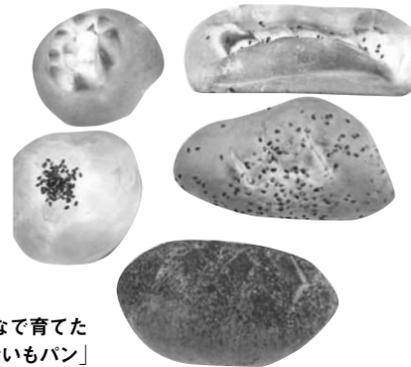




呉フォーク村の村長さん作詞作曲の「やさしさの○(わ)を広げよう」を、おいもを愛する会のテーマソングとして歌っています。



じゃがちゃん・広かんらんちゃん・おいもちゃんの手作り立て看板です。イベントで大活躍！



パンメーカーの協力で、みんなで育てた「おいも」がとても美味しい「おいもパン」になり大好評でした。



○地域コミュニティづくりイベント開催

地域の子どもや大人で植え育てた「じゃがいも・さつまいも」を活用し、地域コミュニティづくりのイベント事業を開催して、様々な「おいも料理」で地域社会の人と人をつなぎ交流を深めました。また、広地区に多く住むブラジル人の子どもたちや保護者の協力を得て、ブラジル料理を通して食文化の紹介や地域交流の場を共に築きました。

【じゃがいも収穫祭「じゃがちゃん祭り」開催】

テーマ 「であい・ふれあい・おもしろい」
～おいもラブステーション・パワーアップ絆プロジェクト～
～じゃがちゃんて広げよう地域の輪～
日時 7月3日(日) 10:00～17:00
場所 呉市広会館・広コミュニティセンター
参加 約350名
内容 じゃがいもを使った調理と販売。会のマスコット人形「じゃがちゃん・おいもちゃん」販売。「ふれあいステージ」での催し物(歌・踊り・手品・体操・魅力再発見紙芝居)、クイズ大会、抽選会。風船アート・ホールインワンゲーム・手マッサージ・一筆書き「絵てがみコーナー」での作品作り。「おいも育て隊・畑友だち大募集!」入会希望の人に土嚢とサツマイモの苗をプレゼント!食事&パザー・フリーマーケットコーナー等。
盛りだくさんの内容で交流を深め出演者も参加者も一体となり心と身体に栄養をつける事が出来ました。

【さつまいも収穫祭「おいもちゃん祭り」開催】

テーマ「であい・ふれあい・おもしろい」
～おいもラブステーション・パワーアップ絆プロジェクト～
～おいもちゃんて広げよう地域の輪～
日時 12月18日(日) 10:00～(雨天決行)
場所 呉市広会館・広コミュニティセンター
参加 約250名
内容 さつまいもを使った調理と販売。畑友だちの芋類・野菜展示・作品展示「ふれあいステージ」での催し物(歌・踊り・手品・体操・魅力再発見紙芝居)、活動紹介、クイズ大会、抽選会。「子ども広場」での風船アートなど楽しさいっぱいで交流を深めました。

○事務局会

定期的に事務局会で、会の目標を確認し今後の活動について話し合い課題を明らかにしていきました。計画を会員で確認することによって意思の疎通を図り、それぞれの気持ちを理解して、活動に広がりをもたせ絆を深めました。

○機関誌発行

「おいもを愛する会」の機関紙「つながりの輪」を定期的に発行することにより、広く地域に「おいもを愛する会」の活動を知ってもらい、協力や参加を呼びかけました。2011年4月～2012年3月末までに合計21号(内3号は臨時号)を発行しました。

○その他 地域行事参加など

- *生ごみリサイクル講演会(林檎の会)を後援
- *男女共同参画パネル展(呉市人権センター)
- *「おいもを愛する会」活動報告(呉市役所)
- *第7回住まいとコミュニティづくりNPO交流会(H&C財団)
- *地方自治研究機構視察(他県から11名視察に来呉)
- *第64回広地区教育祭(広まちづくり推進協議会)
- *第5回市民活動メッセ(市民活動メッセ実行委員会)
- *成人式(広市民センター)
- *東日本大震災被災者の集い(呉市社会福祉協議会)
- *ゆめづくり協働「ミニ」フェスタ
- *呉市長小村さんと6団体代表が公開「絆」トーク
- *NHK取材・放送(広かんらん・かんらんちゃん焼)
- *地域政策実践研究会で事例発表
- *ボーイスカウトのみなさんから「じゃがいも種芋植え体験」を依頼される。
- *広まちづくり協議会ホームページに掲載される。
- *ソーラー版画家みやちさんの作品展で「おいもちゃん・じゃがちゃん・かんらんちゃん」及び活動記録展示
- *中学校特別支援学級の子どもたちの「さつまいも苗植え」体験実施

活動の実施場所

呉市広会館、広コミュニティセンター、おいもを愛する会畑、畑友だちの畑、くれ市民協働センター、広市民センター、広公民館、広まちづくり推進協議会ギャラリー

共催・後援・協力団体

○共催・協力団体:「ワールド・キッズ・ネットワーク」、「レイフラワーアナビヒロ」、「さわやかレクダンス」、「大学いもっ子くらぶ」、「アドベンチャースクール」、「呉観光ボランティアの会」、「ひまわり21」、「呉市青年ボランティア協議会」、「呉フォーク村」、「ゆずりはなるこ会」、「ジャザサイズ」、「白岳グラウンド・ゴルフクラブ」、「成寿園」、「若椿作業所」、「くれ肉じゃがの会」等
○後援団体:呉市広会館、呉市広白岳3丁目自治会、広名田自治会、広東福浦自治会、広白岳ハイイツ自治会





今後の予定

2011年度は、活動のテーマを「おいもラブステーション・パワーアップ絆プロジェクト」として2010年度の町中はたけ調査をきっかけとして発掘された「潜在的な畑」と、栽培された「おいも」を活用し、「町中はたけネットワーク」を形成する基盤づくりをめざし「おいもラブステーション」(畑とおいもイベントスペース)の充実のための活動を行いました。今後においてもラブステーションを繋ぐ取り組みをしていきます。

また、2011年度に行った「^{ひろかんらん}広甘藍(キャベツ)等元気野菜の栽培」は、2012年度も広まちで130年の歴史ある「広甘藍」を育てようと、会員全員が張り切っています。明治17年に広村を襲った巨大台風によって広地区一帯の田畑は作物が十分に育たなくなりましたが、広村を救ったと言われる「広甘藍」の歴史に学び「広甘藍」を広めます。

「おいもを愛する会のブログ」についても、引き続き「であい・ふれあい・おもいあい」の場として畑友たちと会員・おいも育て隊・地域が繋がるために充実させて行きます。(URL: <http://ameblo.jp/oimowoaisurukai/>)

更に、「おいも」を活用した国際交流に関連した活動の充実をはじめ、現在行っている活動がより一層充実できるよう取り組んでいます。



今も、これからも、10年先、20年先も

「幸せになりたい」「元気になりたい」という願いを叶えるために、元気なおいも・野菜をみんなで育てて食べて、「今日はこんなことがあったよ」とお互いにほのぼのとした会話ができるような会を続けていきます。

呉市内の畑友たちはもちろんのこと県外の畑友たちが、予想以上に広がり「北海道・山形・高野山・岡山・広島尾道 瀬戸田 西条・宮崎・鹿児島」まで繋がっています。その人たちとの繋がりも大切に、多くの人たちと繋がって行きます。そして、みなさんに「ここに来て良かった」「あなたに会えて良かった」と思っていたらよい「であい・ふれあい・おもいあい」をより良いものにしていきます。今後とも多くの人と繋がり、笑顔あふれる幸せなまちづくりをめざして活動していきます。一人一人が尊重され愛あふれる笑顔の絶えない、そういった地域がどんどん増えていくことを願っています。「おいもを愛する会」を結成したときから今日までお世話になった人やまちのことを忘れずに、地域のために活動していきたいです。私は、このまちが大好きです!元氣いっぱいがんばります!

今日まで支えていただきましたみなさんありがとうございます。ハウジングアンドコミュニティ財団様のご支援のおかげで活動が広がり絆も深まり充実しています。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

